

題材名・単元名	学部	授業名（主たる教科領域）	授業者
「ぞうくんのさんぽ」	小	グループ学習 低学年ばら (国語)	
<p>&lt;ねらい&gt;</p> <p>1. 劇遊びを通して、言葉による表現に親しむことができる。（知識・技能）</p> <p>2. 楽しみながら言葉や動作を模倣することができる。（思考・判断・表現）</p> <p>3. したい役を選んで、すすんで劇遊びをしようとする。（主体的に学習に取り組む態度）</p>			
学習内容	学習活動	指導上の留意点・準備物	
1. あいさつ	・歌に合わせて教師や友達と手をつないで輪になって歩く。	・期待感をもって学習が始められるようにする。	
2. はじまりのあいさつ	・はじまりのあいさつをする。	・指で2を出すようにする。	
3. 呼名	・自分の名前カードを選んで名前を言う。 ・名前カードを顔写真の下に貼る。 ・数字カードを読みながら数を数える。	・自分の名前を言うことが難しい児童は教師と一緒に言うようにする。 〔名前カード、顔写真、ボード〕	
4. 模倣遊び ・動物たいそう	・見本の教師の体の動きを真似しながら、動物をイメージしていろいろな動きをする。	・スライドや動物のお面を見て何の動きをしているかイメージできるようにする。 〔テレビ、動物のお面〕	
5. 「ぞうくんのさんぽ」 パネルシアター 劇あそび	・パネルシアターで「ぞうくんのさんぽ」のお話を聞いたり見たりする。 ・一人ずつ自分がしたい役を選ぶ。 ・「のせて」「いいよ」のセリフのやり取りをしたあと、動物の箱を積んで、歌を歌いながら歩く。 ・最後にみんなでブルーシートの上で箱を倒し、池に落ちた様子をイメージしながら楽しむ。	・繰り返しの言葉を楽しめるようにする。 ・動物のお面をつけて自分の役を意識できるようにする。 ・児童に応じてセリフを一緒に言うなどの支援をする。歩きながら歌を歌って楽しく取り組めるようにする。 〔動物のお面、動物の箱、ブルーシート〕	
7. おわりのあいさつ	・おわりのあいさつをする。	・指で2を出すようにする。	
<p>&lt;内容（工夫点など）&gt;</p> <p>・グループの図画工作の授業で「ぞうくんのさんぽ」に出てくる動物を作り、劇遊びで使うことにより、より登場人物に親しむことができた。パネルシアターで話を見聞きすることによって、話の内容が理解しやすかったようであった。</p> <p>&lt;良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）&gt;</p> <p>・繰り返し取り組むことにより、「のせて」「いいよ」のせりふを教師と一緒に言うことができるようになった。「おはなをぶらぶらぞうさん♪」と歌を歌いながら、大きな段ボール箱のぞうさんの上に動物を積んで歩き、最後に倒す活動を友達と一緒に楽しむことができた。</p>			